

【令和7年度用 様式1－表】 令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	2	豊田市立 桜母小学校	代表	瀬古 幸弘
------	---	------------	----	-------

テーマ	われら桜母っ子一地域に学び、考え、動く子一 サブテーマ	分野	b	地域連携
学校づくりの視点（ねらい）	①桜母地区の自然や環境、歴史に関わることで、地域に生きることの自覚を高める。 ②桜母地域の一員として、地域を愛し、誇りをもたせるための体験活動の充実を図り、率先して地域に働きかけることができる子どもを育てる。 ③地域に暮らす人々との交流体験を通して、お互いを理解し、共に地域を支える市民として生きていこうとする力を育む。	(その他)は分野を右欄に記入		
活動内容・計画	①校外学習で、町探検、公園探検、桜母祭りの調べ学習に出かけ、地域の様子や歴史について学ぶことで、地域愛を育てる。 ②理科や生活科、総合的な学習の時間や休み時間等にビオトープでの活動を通して、身近な自然と接し、生息する生き物や植物への理解を年間を通して深める。 ③地域講師を指導者として、お囃子を練習し、学校公開日等で披露する。 ④交流館行事等、地域の活動に参加し、地域に貢献することのよさを実感する。			
補助員配置	・校内整備員			
実績・期待される効果	・町探検や公園探検、桜母まつりについての調べ学習を通して、実際に足を運び、自分の目で見て、体験する学習をすることで、子どもたち自身がたくさんの発見をすることができる。さらに、市街地での生活に関する工夫や桜母地区の歴史について調べたことを発表することで、地域への理解を深め、調べたことを保護者や地域の方に見ていただくことで、みんなで一緒に地域のことを考えるよい機会にすることができる。また、地域を見学する中で、公共マナーを考えたり、道徳性を身に付けたりすることができる。 ・ビオトープでの活動は、都市部に立地する本校の子どもたちが、自然への関心を高め、自然愛護の心を育てたり、体験学習ができたりする貴重な場となっている。また、ビオトープの水路には、矢作川の水が引かれており、地域に流れる矢作川の自然に触れることができる学習の場となっている。			
検証方法	・子どもたちの活動のまとめや発表から、学習課題に対する達成の状況を把握する。 ・各学年で取り組んだことへの振り返りを行い、次年度に引き継いでいく。 ・保護者の方には、学校評価アンケートによって、子どもたちの様子について成果が見られたかを検証する。 ・学校運営協議会で活動の取組について等のご意見を伺う。			